| 学校番号 | ３０１２ |
|---|---|

令和３年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | コミュニケーション英語Ⅱ | 3 | 第３学年 | MY WAY English Communication Ⅱ New Edition |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅱの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、ペアワークやグループワークも取り入れ、音読や考えを相手に伝えるなどの言語活動を多く行います。積極的に活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法は「英語を使う」ことを意識して、実際のコミュニケーションに活かせることを目標にしましょう。

## 2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目･評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目･評価 |
| ・関連する映像や読んだこと、学んだこと、また経験したことなどに基づいて、情報や自分の考えについて話すことができる。<br>・簡単な質問に、素早く正確に答えることができる。 | コミュ英Ⅱ<br>インタビューテスト<br>スピーチ | ・関連する映像や読んだこと、学んだこと、また経験したことなどに基づいて、情報や自分の考えについて、簡潔に書くことができる。<br>・簡単な質問に、正確に答えを書くことができる。 | コミュ英Ⅱ<br>定期考査 | ・関連する対話や紹介文などを聞いて、情報の概要や詳細をとらえることができる。<br>・テーマに関する質問を聞いて、内容を理解することができる。 | コミュ英Ⅱ<br>リスニングテスト<br>定期考査 | ・説明や物語などを読んで、情報の概要や詳細をとらえることができる。<br>・内容に関する質問の答えを、正確に探し出すことができる。 | コミュ英Ⅱ<br>リーディングテスト<br>定期考査 |

## 3 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | 文法等の知識を身に付け、正しく運用できているかどうか、また知識の背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

## 4　学習の活動

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 5<br>( 10 時間) | 日本のろう者女子サッカーチームの活躍を知り、努力と不屈の精神を学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・世界のサッカーチームについて知っている情報や、サッカーの由来について、間違うことを恐れず、積極的に話す。 | ・各セクションを読む前に、世界のスポーツやサッカーについて、ワークシートに基づいてペアで伝え合う。 | ・ろう者女子サッカーやワールドカップについて、間違うことを恐れず、積極的に話している。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・ろう者女子サッカーチームの活躍についての説明を読んで、自分の意見を関係代名詞を使って簡潔な英語で書く。 | ・本文を読んで、各国のろう者女子サッカーチームの現状をワークシートに要約する。<br>・自分の意見をまとめる。 | ・ろう者の女子サッカーチームについての説明を読んで、自分の意見を関係代名詞を使って簡潔な英語で書くことができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・例示や表現に注意して、ろう者女子サッカーチームの活躍と不屈の精神に関する情報の概要や要点を捉える。 | ・セクションごとに、概要や要点を捉え、ワークシートにメモする。 | ・例示や表現に注意して、日本のろう者女子サッカーチームに関する情報の概要や要点を捉えることができる。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・関係代名詞の使い方を理解する。<br>・例示の使い方を理解する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・関係代名詞の使い方を理解している。<br>・例示の使い方を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 6<br>(10 時間) | 科学的な内容の英語を読み、宇宙エレベーターについて知る。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。 | ・各セクションを読む前に、宇宙について知っている情報について、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。 | ・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・読んだことに基づき、宇宙について知っていることについて話す。 | ・ペアで、メモに基づいて、宇宙について伝え合う。 | ・読んだことに基づき、宇宙エレベーターについて話すことができる。 | ・授業時間を利用してインタビューテストを実施する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・宇宙エレベーターについて、またその完成における恩恵を理解する。 | ・セクションごとに、関連した映像などを見ながら、イメージとともにその内容を理解する。 | ・宇宙エレベーターの困難さやまたその恩恵を理解することができる。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・完了形や未来進行形の使い方を理解する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・完了形や未来進行形の使い方を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 7<br>( 10 時間) | ZARD のボーカル坂井泉水さん作詞の「負けないで」を通じて、音楽が人々に希望と勇気を与えていることを学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。 | ・セクションごとに、本文の音声を聞き、ワークシートにメモする。 | ・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・本文の内容に基づき、ZARD の好きな音楽について、理由と共に簡潔に書く。 | ・本文の内容に基づき、ワークシートに英語で書く。 | ・本文の内容に基づき、 ZARD の好きな音楽について、理由と共に簡潔に書くことができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・ZARD や坂井泉水さんに関する情報の概要や要点を捉える。 | ・セクションごとに、本文の音声を聞き、ワークシートにメモする。 | ・ ZARD や坂井泉水さんに関する情報の概要や要点を捉えることができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・助動詞の使い方を理解する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・助動詞の使い方を理解している。<br>・例示（such as や like）の使い方を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 8<br>( 10 時間) | 世界の言語の中にはピジン語という混合語があること、この言語も立派な言語であることを学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・世界の言語やピジン語について、間違うことを恐れず、積極的に話す。 | ・各セクションを読む前に、日本語以外の外国語について、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。 | ・外国語や混合語について、間違うことを恐れず、積極的に話している。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・読んだことに基づき、外国語やピジン語について、簡潔な英語で発表する。 | ・日本語以外の興味のある外国語についてその理由を英文で書き、クラスで発表する。 | ・読んだことに基づき、外国語や混合語について、簡潔な英語で発表する。 | ・授業時間を利用して、スピーチを実施する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・日本語以外の言語に興味をもった理由となぜ興味を持ったかを理解する。 | ・セクションごとに関連した映像などを見ながら、混合語や外国語について読み、イメージとともにその内容を理解する。 | ・外国語や混合語について読んだことを理解する。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・仮定法過去、仮定法過去完了の使い方を理解する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・仮定法過去、仮定法過去完了の使い方を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 9<br>(10 時間) | チャップリンの幼少時代、青春を通じて、貧しさや困難の克服、悲しみを笑いに変えた生き方などを学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。 | ・チャップリンが世界から愛される理由について、ペアで考えながら、推測する。 | ・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・チャップリンが世界から愛される理由を簡潔に書く。 | ・セクションごとに、チャップリンについて興味を引かれた内容について、ワークシートに英語で書く。 | ・セクションごとにチャップリンについて興味を引かれた内容についてワークシートに英語で書くことができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・チャップリンの生き方や半生について概要や要点を捉える。 | ・セクションごとに、関連した画像を見ながら、チャップリンの生き方や半生について理解する。 | ・チャップリンの生き方や半生について、概要や要点を捉えることができる。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・分詞構文や付帯状況“with”の使い方を理解する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・分詞構文や付帯状況“with”の使い方を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |